



教育目標

なかまと学び合い、自己実現に向けて未来を切り拓く子どもを育てる

めざす子ども像

自分をみつめ、
主体的に学ぶ子
（学力）



自分やまわりの人を
大切にし、人権を守る
実践行動ができる子
（人権）



夢や目標に向かって
行動できる子
（キャリア）



具体的な取組

- 「わかった」と実感できる授業の創造
- 協働的な学びを通してどの子どもも主体的に考える授業の研究
- 「わからない」と言える授業づくり、「わからなさ」によりそう集団づくり
- 読書活動の推進

【数値目標】

- ◆授業がよくわかり楽しい。
【児童 90%以上】
- ◆「わからない」「わかりにくい」と伝えることができる。
【児童 90%以上】
- ◆学校や家で、週に3日以上読書をしている。
【児童 90%以上】

具体的な取組

- 自分や他者の人権を守るための実践行動ができる力の育成
- 一人ひとりのくらしや思いを知り、互いに認め合える場づくり
- 人権問題について認識を深める教職員研修の充実

【数値目標】

- ◆からかいやいじめ等を見たとき「おかしい」「やめよう」と言える。
【児童 90%以上】
- ◆いっしょに話したり遊んだりできる友だちがいる。
【児童 100%】
- ◆人権の尊重を基調とした人権教育が行われている。
【保護者 90%以上】

具体的な取組

- さまざまな人との出会いを通じて、多様な生き方を知る活動の充実
- 夢の実現に向けた「キャリアパスポート」による支援の充実
- 家庭・地域・保育所（園）・中学校との連携

【数値目標】

- ◆将来の夢や目標をもっている。
【児童 90%以上】
- ◆学校では、人との出会いを大切にした学習が行われ、人としての生き方について学んでいる。
【保護者 90%以上】
- ◆自分から進んであいさつをしている。
【児童 90%以上】

家庭・地域・保育所（園）・中学校との連携

- 家庭訪問や懇談会、通信やマチコミなどで、子どもたちの様子や連絡などをきめ細かく伝えます。地域にも、学校だよりやホームページなどで情報発信と共有に努めます。
- ◆「学校は保護者や学校運営協議会等の意見を取り入れて、学校改善に努めている」
【保護者 90%以上】

信頼される学校づくり

教職員が働きやすい環境整備

- 教職員が笑顔で元気に子どもたちと向き合えるよう、総勤務時間を縮減します。
- 学校安全衛生委員会を定期的開催します。
- ◆一人当たりの月平均時間外労働【20h以下】
- ◆月45hを超える時間外労働者【0人】